絵画で遊び、体験 アートに親しむ

トリックアート美術館

日本発祥の参加・体験型アート「トリックアート」。平面の絵が飛び出したり、角度により違う雰囲気の絵に見えたりする不思議なアートだ。栃木県・那須と東京・お台場、横浜・新港地区にあるトリックアートの常設館は、作品を見るだけでなく、写真に撮ったり、自由に触れたりとさまざまな体験ができる。思い出づくりとともに、芸術性を学び、発想力を養える体験・見学地と、中学や高校の修学旅行で人気を集めている。

那須とりっくあーとぴあ アートの制作体験も

「那須とりっくあーとぴあ」（栃木県那須町）は、国内最大のトリックアートのテーマパークだ。テーマが異なる三つのミュージアムと、アート制作を見学できるアトリエ、見学者自身で制作体験ができる体験館を備える。

体験館でアートの制作体験ができる

ミュージアムの一つ、「トリックアートの館」は「子供の頃に憧れていた空想の世界」がテーマ。おとぎ話の世界を絵画で創り出し、光の演出によって、見る人を幻想的な空間に入り込んでもらう仕掛けだ。

「トリックアート迷宮館」は、魔法の世界をトリックアート再現したトリックアート館。立つ位置により体験者2人の体の大きさが変わって見える「エイムズの部屋」や鏡を使ったトリックなど体験型の作品が豊富。

「ミケランジェロ館」は、イタリアルネサンスの三大巨匠の名作をトリックアートで再現。「最後の晩餐（ばんさん）」や「アテネの学堂」「システィーナ礼拝堂」は見る人を圧倒する。名画を楽しく、身近に感じてもらえる施設になっている。

「飛び出す鳥獣戯画」

ミケランジェロ館の隣にある「制作アトリエ」は、トリックアートの制作スタッフが実際に制作する場面を見学することが無料でできる。アートについて質問ができるため、学生の興味や探求心を満たせる機会になることだろう。

アート制作体験館「ホワイトスタジオ」は、予約制ではあるが、実際に絵付けや工作など実際の制作体験が可能だ。1クラス（50人まで）が入れるスペースがあり、豊富な体験プログラムから選ぶことができる。絵や美術が苦手だった生徒もここでは自由な発想で楽しく制作できるため、ここでしか得られない思い出が得られることだろう。

▽栃木県那須郡那須町高久甲5760。☎0287（62）8388。不定休で、午前9時半から午後5時まで営業（8月は午前9時から午後5時半まで）。入場料3館共通大人2900円、中学生以下2千円。

「東京トリックアート迷宮館」は、江戸をテーマにした和風のトリックアートをはじめ、多くの人気作品を展示する体験型の美術館。東京屈指の観光スポットお台場にあり、一般客や修学旅行客で年中にぎわっている。

館内に入り、まず目にするのは「江戸エリア」。「華やかな江戸の彩」をコンセプトに、色彩豊かで親しみやすいモチーフの、和風の作品を数多く展示している。

「トリックいたずら日本画」と題して、大和絵浮世絵の名作をだまし絵にして展示。北斎の「神奈川沖浪裏」で来場者がサーフィンをしたり、「飛び出す鳥獣戯画」に入り込むなど、現実と絵が一体になったユニークな写真を撮れる。

「忍者屋敷エリア」では、「隠し扉」などさまざまな仕掛けがあり、そこを見て楽しめる作品でクイズや隠し絵に挑戦。お土産にオリジナルグッズを販売している。

▽東京都港区台場1の6の1、デックス東京ビーチシーサイドモール4階。☎03（3599）5191。不定休で、午前11時から午後9時まで営業。入場料大人1200円、中学生以下800円。

◇　◇

東京・横浜にも美術館 多くの人気作品を展示

横浜のみなとみらいや中心街に近い新港地区の複合施設「横浜ワールドポーターズ」に一昨年7月、「横浜トリックアート迷宮館」がオープンした。「時空を超えた旅」をテーマに、過去、現在、未来の世界を51点のトリックアートで表現。最新の錯覚やトリックを使った作品は見て楽しむだけでなく、実際に動かすことで体験できる。

「紅葉に映える古城」

「仕組みを考えたり、表現方法を見て学ぶなど、生徒の感受性を高めて、美術に取り組むきっかけになってほしい」とスタッフは説明や体験サポートをしている。

▽横浜市中区新港2の2の1、横浜ワールドポーターズ4階。☎045（264）9240。不定休で、午前10時半から午後9時まで営業。入場料大人1300円、中学生以下900円。

「コロナ禍前に回復」

24年度修学旅行実施状況調査

全修協

全国修学旅行研究協会（全修協、岩瀬正司理事長）はこのほど、「2024（令和6）年度全国修学旅行実施状況調査」をまとめた。2024年度に行われた全国の公私立高等学校・中学校の修学旅行や修学旅行外の研修旅行の実施状況を調査したもの。コロナ禍の収束を受け、修学旅行についても「コロナ前の状態を取り戻した実態が明らかになった」（同協会）。ここでは高等学校の調査結果について要旨を紹介する。

全国の公立・私立高等学校4814校を調査したところ、24年度に修学旅行を実施したのは延べ6128校。実施率127・3％だった（1学年の旅行で班・クラス別に複数の方面がある場合などは複数校でカウント）。このうち公立は校数3473校、実施4367校（実施率125・7％）。私立は校数1341校、実施1761校（同131・3％）。

生徒数は公立・私立合わせて97万2174人で、修学旅行への参加数は96万2574人（参加率99・0％）。このうち公立が生徒数63万8222人、参加数66万8646人（同106・0％）。私立が生徒数34万1352人、参加数29万3928人（同86・1％）。

校数を旅行方面別に見ると、公立は近畿が最も多く、1251校と全体の28・6％を占めた。2位、3位は沖縄、関東で、それぞれ757校（17・3％）、734校（16・8％）。上位3方面で全体の6割以上を占めている。海外は259校（5・9％）と、4位の北海道（362校、8・3％）に次いで5位に位置する。

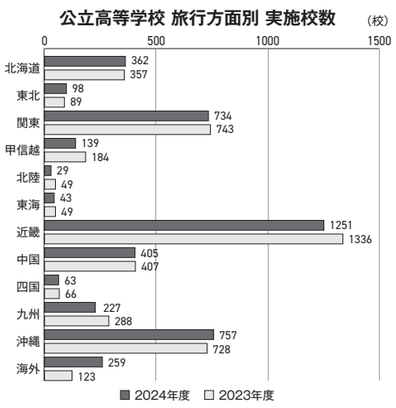
前年度（23年度）は1位近畿（1336校、30・2％）、2位関東（743校、16・8％）、3位沖縄（728校、16・5％）だった。沖縄は前年度から0・8ポイント上昇し、順位は関東と入れ替わり2位に。対して近畿はトップに変わりはないものの、割合が前年度から1・6ポイント低下した。海外は前年度の123校（2・8％）から大きく上昇した。

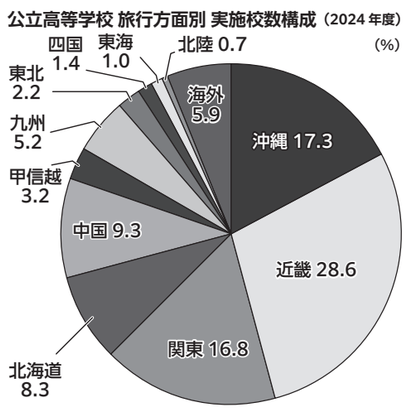
「国内の修学旅行先として、新型コロナウイルス感染症により最も影響を受けた沖縄への修学旅行が増加傾向にある、他方面に比べ時間のかかった回復だが、コロナ前の8割程度まで戻ってきている。海外への修学旅行も回復が進んでいる」（同協会）。

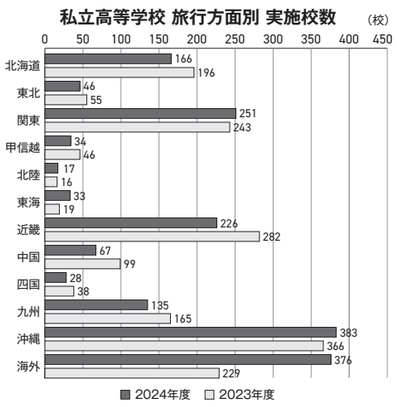
私立は沖縄が383校、21・7％とトップ。海外が376校、21・3％と続いている。以下、関東（251校、14・3％）、近畿（226校、12・8％）、北海道（166校、9・4％）の順。

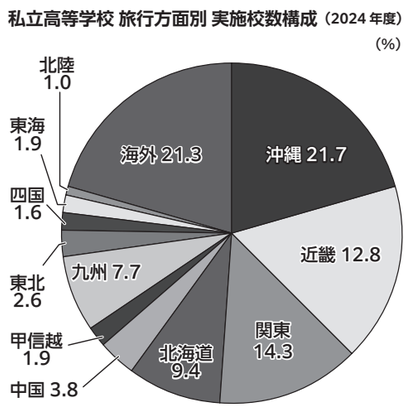
前年度も沖縄が366校、20・9％とトップだったが、2位が近畿（229校、13・1％）と4位だった。24年度は海外が前年から8・2ポイント上昇しているのが目立つ。首位の沖縄は0・8ポイント上昇。北海道、九州はそれぞれ1・8ポイント、1・7ポイント低下した。

「昨年度、コロナ禍で海外渡航を自粛し、国内修学旅行に切り替えた学校の多くは北海道、九州、沖縄という遠方への旅行を実施していた。全国的な海外修学旅行の再開に呼応して、北海道、九州への修学旅行は減少したが、公立校同様、沖縄への修学旅行は増加している」（同）。









体験するインバウンド観光客

日本の伝統芸能「剣舞」

吟舞 教旅プログラムを提案

吟舞（京都市）は、日本の伝統芸能である「剣舞」の別称の一つで、プログラムは、剣舞を通して、「自身の身体を通して体験し、集中力を高め、心を整えるという体験だけで終わらない包括的なプログラム」と代表の鉤逢賀（まがり・おうが）氏。

プロの剣舞師による扇舞、剣舞の鑑賞と、生徒自身が体を動かし、所作を学ぶ体験を組み合わせた。観る、感じる、考えるまでを一連で設計したという。

体験プログラムの所要時間は60～90分。60分プログラムの場合、①剣舞とは何か、体験ポイントを共有する「レッスンの説明」②武士道の基本である「礼」を学ぶ「入り礼」③舞台芸術としての表現を、間近で学ぶ「プロによる剣舞鑑賞」④武士の教養を学ぶ「所作体験」―など。

鉤氏によると、「2025年度は、国内外約2万人が体験した世界標準のコンテンツで、26年度からは、生徒たちの自立心と志を育む教育旅行向けに再設計して、提供する」としている。

問い合わせ先は、同社ホームページ（https://www.giribu.co.jp）。

教育分野 日本最大の展示会！　教育の「今」を学べる、「未来」に気づける3日間

第17回 EDIX 東京
教育 総合展
2026.5.13（水）～15（金）　10:00～18:00※最終日のみ17時終了　東京ビッグサイト
主催　EDIX実行委員会　企画運営　RX Japan合同会社
後援　文部科学省／経済産業省／総務省／デジタル庁／ICT CONNECT21／超教育協会／大学ICT推進協議会／全国ICT教育首長協議会／デジタルラーニング・コンソーシアム（DLC）／日本教育情報化振興会／日本オンライン教育産業協会（順不同。法人格略）

EDIXは 教育分野に特化した 展示会とセミナーのイベント です。
教育のトレンドだけでなく、今お悩みの課題解決につながる情報やヒントが見つかります。

業界第一人者によるセミナー全30講演以上を3日間で開催！〈セミナー講師 一部紹介〉
次期学習指導要領の方向性と教育DX　文部科学省 初等中等教育局 教育課程課長 武藤 久慶
GIGAスクール構想が支える学びの深化　文部科学省 初等中等教育局 学校情報基盤・教材課長 学校デジタル化プロジェクトチームリーダー 寺島 史朗
日本の学校教育はどこに向かうのか　岡田 武史氏、木村 泰子氏とのパネルディスカッション　教育アドバイザー 工藤 勇一
学校はここまで変えられる！これからの時代の学校のあり方　(株)アカデミア・ネクサス 代表取締役 元広島県教育長 平川 理恵
敬称略。上記は2026年3月17日時点の情報であり、講師、プログラムが変更になる場合がございます。

出展予定製品・サービス
業務支援・DXエリア：教育クラウド／保育ICT／校務支援／見守りシステム／事務支援／AI業務改革／授業支援／チャットボット／セキュリティ／RPA／学生管理／CBT／デジタル採点／オンライン授業配信／連絡網／動画作成コンテンツ／出欠管理／タレントマネジメントシステム／学習管理／授業配信…など
学び環境づくりエリア：PC/タブレット端末／防犯／電子黒板/プロジェクター／防災／校内LAN/ネットワーク／施設リニューアル／スピーカー/カメラ／エデュテイメント／プリンター/複合機／空調／オンライン授業支援機器／衛生管理／保管庫／記念品／学校備品／グッズ／教室備品／食堂／校内イベント…など
教材・コンテンツエリア：デジタル教材／ゲーミフィケーション／教育アプリ／ドローン／語学教材／メタバース／試験対策／eラーニング／学びの個別最適化／LMS／金融教育／リスキリング／知育教材/玩具／資格習得／探究学習／キャリア開発／プログラミング／人材管理システム／AR/VR教材／リカレント教育／ロボット教材／理科科学実験／ものづくり教材…など

最新情報はWebにて！　出展社一覧　注目の出展製品　展示会への来場登録　セミナー情報　会場案内図　など 随時更新中！
展示会場への入場には 来場登録（無料）が必要です　www.edix-expo.jp　EDIX　検索

お問合せ　主催者 EDIX実行委員会　企画運営 RX Japan合同会社　東京都中央区八重洲2-2-1 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー11階
TEL 048-233-9478（10:00~18:00土日祝除く）E-mail edix.jp@rxglobal.com　個人情報保護方針 https://privacy.rxglobal.com/ja-ja.html